

各 位

平成27年10月28日
九州史学会
委員長 佐伯弘次

平成27年度 九州史学会大会のご案内

拝啓 皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る12月12日(土)、13日(日)の2日間にわたり、平成27年度九州史学会大会を下記の要領にて開催致すはこびとなりました。ご多忙の折りとは存じますが、本学会の一層の発展のため、ふるってご参会下さいますようご案内申し上げます。 敬具

九州史学会大会次第

於九州大学

12月12日(土) シンポジウム

法文系講義棟101番教室(午後1時30分より)

「正史の近代—修史事業と歴史学」

「正史の近代—修史事業と歴史学」の目指すもの—趣旨説明
博士論文になった「正史」—柯劭忞『新元史』をめぐる—
李王職の高宗・純宗実録編纂と小田省吾の「朝鮮史学」
公定歴史学と教科書—トルコ共和国における正史と歴史教育
コメント

九州大学	山口輝臣
東北大学	渡辺健哉
佐賀大学	永島広紀
九州大学	小笠原弘幸
福岡市博物館	有馬学
九州大学	岡崎敦

懇親会 九州大学生協文系食堂(箱崎文系キャンパス内) (午後6時より) 会費3,000円(学生1,000円)

12月13日(日) 研究発表

(午前9時より)

<日本史部会> (法文系講義棟102番教室) <午前9時30分開始>

柳川藩主立花家の婚礼—12代鑑寛を事例に—

伊藤博文の統監就任過程と高宗の対日政策

手島精一と教育調査会

古代日本・統一新羅における集落と戸の編成—考古学的成果を手掛かりとして—

駅鈴と万葉歌

南北朝期における三条泰季の政治的動向—公家大将の一事例として—

室町・戦国期の対馬と壱岐—海域の秩序をめぐる政治史

九州大学	甲斐未希子
九州大学	韓相一
九州大学	小林篤正
九州大学	立花大輔
九州大学	森哲也
九州大学	山本隆一朗
国立歴史民俗博物館	荒木和憲

<東洋史部会> (法文系講義棟204番教室) <午前9時開始>

北魏における皇太子制度の導入について

北魏文明皇后崩御時における孝文帝の服喪儀礼構想

奉教士人徐光啓と在華イエズス会士の天主教布教について—徐光啓と宣教師たちとの交際を中心に—

前漢前半期の官僚機構と劉邦集団

漢代の国制改革とその特質

大中小祀の成立—北朝の楽曲編成からみた—

北朝隋唐における南朝系貴族群のあり方についての基礎的考察

遼・西夏間の外交を巡って—婚姻の側面から見た—

宋末元初の陵陽牟氏と江南統治

元代世祖期における崇仏の裏面—普度資戒会をてがかりに—

ウィットフォーゲルの所説について—周辺同化論と浸透王朝論を中心として—

西南学院大学	稲田友音
九州大学	山下洋平
九州大学	史習隼
鹿児島大学	福永善隆
九州大学	植松慎悟
山梨大学	戸川貴行
埼玉大学	小林聡
鈴鹿工業高等専門学校	藤野月子
京都大学	小林隆道
関西大学	藤原崇人
九州大学	川本芳昭

<朝鮮学部会> (法文系講義棟202番教室) <午前9時30分開始>

【午前の部】(9時30分開始)

モンゴルの日本侵攻における高麗の糧料抛出量

高麗時代の僧齋色について

東洋文庫蔵『国朝列聖御筆』所載の朝鮮初期国王文書

高麗・演福寺鍾に関する基礎的研究

九州大学	森平雅彦
滋賀県立大学	安田純也
新潟大学	川西裕也
九州大学名誉教授	濱田耕策

【午後の部】（13時30分開始）

均役法制定後～20世紀初頭の漁税についての一考察

韓国統監府・朝鮮総督府の技術系官吏 ―その人事慣行の形成と配置

現代朝鮮語の漢字語における濃音化 ―〈流音後濃音化〉を中心に

日韓基本条約・諸協定の“同床異夢”的解釈について

韓国外交部公刊資料に見る日韓関係の変遷 ―『日本概況』及び『外交白書』を中心に

東京大学

佐賀大学

九州大学

島根県竹島問題研究顧問

九州大学

大沼 巧

永島 広紀

辻野 裕紀

藤井 賢二

菊池 勇次

＜イスラム文明学部会＞（法文系講義棟203番教室）＜午前9時30分開始＞

境域を行き交う人々 ―十五世紀マグリブ・アクサー北部の事例から

英領インド行政とムスリム聖者廟

18世紀ブハラの年代記『ハンへの贈り物』について ―史料論と王権論からの略考

「火器史の近代」とガージャール朝政府 ―その武器調達の性格をめぐる

シンポジウム「イスラームの王権と正統性――中世から近代へ」

趣旨説明

貨幣資料からみた初期ブワイフ朝の権力構造

イルハーン朝君主の称号と王権 ―イラン概念研究の視点から

インドのムスリム諸政権とカリフ ―デリー・スルターン朝時代からムガル帝国時代へ

愛国としての法学 ―イブラヒム・ハックとオスマン公法学の展開

青山学院大学

筑波大学

上智大学

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

千葉科学大学

東京大学

神戸大学

津田塾大学

篠田 知曉

二宮 文子

木村 曉

小澤 一郎

近藤 信彰

橋爪 烈

大塚 修

真下 裕之

藤波 伸嘉

＜西洋史部会＞（法文系講義棟301番教室）＜午前10時30分開始＞

10-11世紀マコネ地方における文書作成の担い手とその変化 ―在俗聖職者から修道士へ―

中世前期の北西ヨーロッパ海域における船の型とその変遷

古代末期のティール社会と墓地 ―アル＝バース・サイトの分析から―

16・17世紀ヴェネツィア共和国の本土領統治 ―本土領監査審問官を事例として―

ポリツァイと官房学 ―近世ドイツにおける統治術の系譜―

北米植民地からの帝国論 ―ジェレマイア・ダマー『ニューイングランド特許状の擁護』を中心に―

ソ連占領地区ドイツにおける知識人たちとナチズム ―「文化同盟」の事例から―

私のインタナショナル史研究 ―戦争と平和、そして革命の時代をめぐる―

私のインタナショナル史研究 ―戦争と平和、そして革命の時代をめぐる―

熊本大学

熊本大学

広島大学

神戸大学

神戸芸術工科大学

福岡大学

日本学術振興会特別研究員PD（福岡大学）

九州大学

法花 津晃

鶴島 博和

奥山 広規

野村 雄紀

紫垣 聡

森 丈夫

伊豆田 俊輔

山内 昭人

＜考古学部会＞（法文系講義棟101番教室）＜午前9時30分開始＞

筋付着部の発達度からみる縄文時代の生業様式の地域的多様性

玉類の副葬形態からみた古墳時代の開始

古墳時代前期における小型鏡の生産と流通 ―重圈文鏡・珠文鏡を対象として―

若狭向山1号墳の報告を終えて

6世紀における横穴墓の出現・展開とその意義

長崎県壱岐市・掛木古墳出土の鏡について

律令国家成立期における集落遺跡と里の編成 ―筑紫平野を対象に―

古墳時代～古代の集落遺跡における倉庫遺構

考古学における『先周文化』と『羌戎文化』 ―中国甘青地区における土器動態をもとに―

九州大学

九州大学

九州大学

花園大学

九州大学

九州大学

長崎県埋蔵文化財センター

久留米市文化財保護課

佐賀大学

九州大学

米元 史織

谷澤 亜里

中井 歩

高橋 克壽

岩橋 由季

辻田 淳一郎

片多 雅樹

神保 公久

重藤 輝行

齊藤 希

当日は、受付にて、参加費1,500円（2日間）をお支払い下さい。

12日は会場の101番教室の後方入口にて、13日は104番教室にて、それぞれ受付を行います。

なお、本大会出席のため、所属機関への出張依頼を必要とされる方は、下記事務局までご連絡下さい。

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学文学部九州史学会事務局（イスラム文明史学研究室） 電話 092-642-2384

E-mail: shigakkai@lit.kyushu-u.ac.jp http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~shigakkai/